

# 平成24年度国際消防救助隊セミナー

## 参事官

平成25年2月27日（水）～3月1日（金）の3日間、滋賀県大津市において「平成24年度国際消防救助隊セミナー」（消防庁、全国市町村国際文化研修所共催）を開催しました。セミナーには、国際消防救助隊に登録している77消防本部から80名の国際消防救助隊員が参加しました。

### ■1日目（27日）

外務省、独立行政法人国際協力機構、奈良県立医科大学から講師を招き、国際緊急援助体制や派遣の流れ、近年整備が進んでいる国際的なルールに則った標準的活動方針や被災地における国際連携手法、医療班との連携等について講義を行っていただきました。また、消防庁は、今年度を実施した国際消防救助隊連携訓練の概要等の取り組みについて講義を行いました。

### ■2日目（28日）

京都市消防局の京都市消防活動総合センターにおいて、在日米海軍統合消防局草場秀幸氏、国際緊急援助隊救助チーム技術検討員（東京消防庁、大阪市消防局、大津市消防局から各1名参加）、今年度国際消防救助隊連携訓練を実施した消防本部（札幌市消防局、東京消防庁、京都市消防局、広島市消防局から各1名参加）から講師を招き、実技習得研修を行いました。

実技習得研修では、国際緊急援助隊救助チーム技術検討会で導入の可能性を検討しているスタティックロープと三つ打ちロープを使用したロープレスキュー（中洲救助、斜めブリッジ救助）の比較検証、鉄筋コンクリート等の破壊技術（ブリーチング）で使用する破壊器具等の取り扱い、倒壊建物等において木材を活用した安定化技術（ショアリング）で使用する釘打ち機の取り扱い等を実施しました。

### ■3日目（3月1日）

今年度、国際消防救助隊の連携訓練を実施した消防本部から事例発表を行っていただきました。最後に、消防庁国民保護・防災部参事官付永作国際協力官の閉講挨拶をもって、セミナーを終了しました。

本セミナーは、今回で12年目を迎えました。今後とも消防庁では、海外の被災地に派遣される国際緊急援助隊救助チームの中核である国際消防救助隊員として必要とされる知識や技術等を修得するための機会の提供に努め、その実力を十二分に発揮できる体制の強化を図ってまいります。

各消防本部におかれましては、本制度へのご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。



開会のあいさつ（消防庁永作卓士国際協力官）



講義



技術習得研修（ショアリング）



技術習得研修（ロープレスキュー）



技術習得研修（ブリーチング）



技術習得研修（講師による講評）



連携訓練実施消防本部による取組事例発表



振り返り

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付 藤江  
TEL: 03-5253-7507